

緊急時レジリエンス環境整備事業（単県）

1 目的

平成30年7月豪雨災害での交通遮断等により、事業の停滞等が露見し、災害等の緊急時に強靱かつ柔軟な事業活動ができる環境を整備する必要があることから、BCP（事業継続計画）の策定が進んでいない中小企業等を対象に、災害等の非常事態の中で、通常事業の早期復帰等を目指すためのBCPの策定を支援することで、地域全体の経済活動を維持する環境を整備する。

2 事業内容

(単位：千円)

区 分	内 容	予算額
BCP・BCM(事業継続マネジメント)普及フォーラム等	○BCPの有効性の事例を交えて紹介し、BCPの必要性を説く 経営者向けフォーラム・セミナー ・県内3か所(広島・呉, 尾三, 北部) 計15回	4,095
BCP策定支援講座等	① ワークショップ形式の策定講座(BCP文書化) ・緊急時の体制整備, 被害想定, 事業の優先度の選定等最低限必要な内容を検討し, BCPを策定 ・取引先等の関係事業者へのBCP策定の推進に向けたワークショップの実施 ② 机上演習等(BCM活動の習慣化) ・付与した被害想定に対して, 策定したBCPの有用性等を確認・効果検証 ・机上演習等の推進を目指すための社内教育の整備等についての助言相談サポート	17,075
BCM共助推進体制システム構築モデルの検証	○大災害発生による事業中断時に複数の事業者が共同で事業継続を可能とするための「共助体制」の構築をモデル的に実施	1,000
合 計		22,170

3 成果目標

○ 事業目標：BCP策定事業者数 (R2実績) 161社 (R3目標) 140社 (R1～累計420社)